

ぼくはダニエル。
ガーナで盲学校に
通っています。

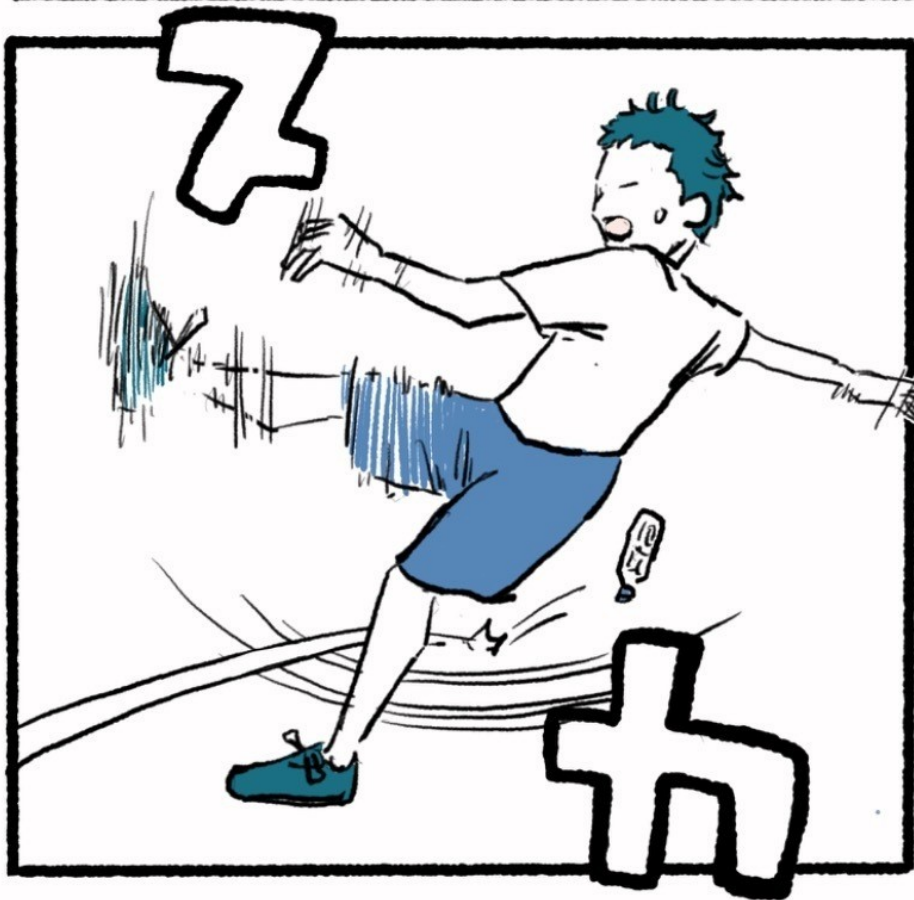
ワ
ー

「ダニエル、
いったぞー!!」

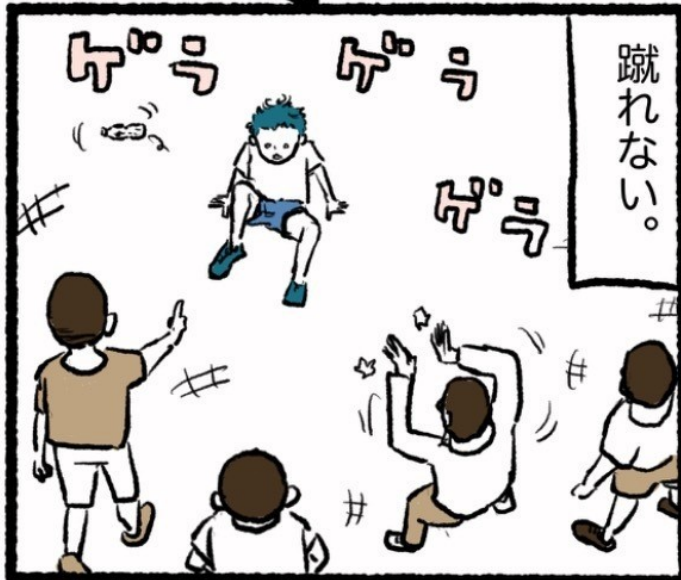
ワ
ー

生まれつき
目が見えません。

だから、
ペットボトルサッカーの
ペットボトルも、



蹴れない。



ペットボトルサッカーに
参加するのは、
弱視の人ばかり。

完全に見えないのは
ぼくだけです。

ちよっとは
見える





この人は日本から来た先生で、
ぼくたちはアブースマって
呼んでる。

日本から
ボールを取り寄せたんだ！

アブースマは好きだけど…

サッカーはやだな…

みんな、
これをつけてー！

サッ サッ
サッ

ダニエル、きみも。

アイマスク…？

わ！

あれ！？

難しいよ
アブースマ！



みんな…
ちゃんと蹴れて
ないみたいだ…



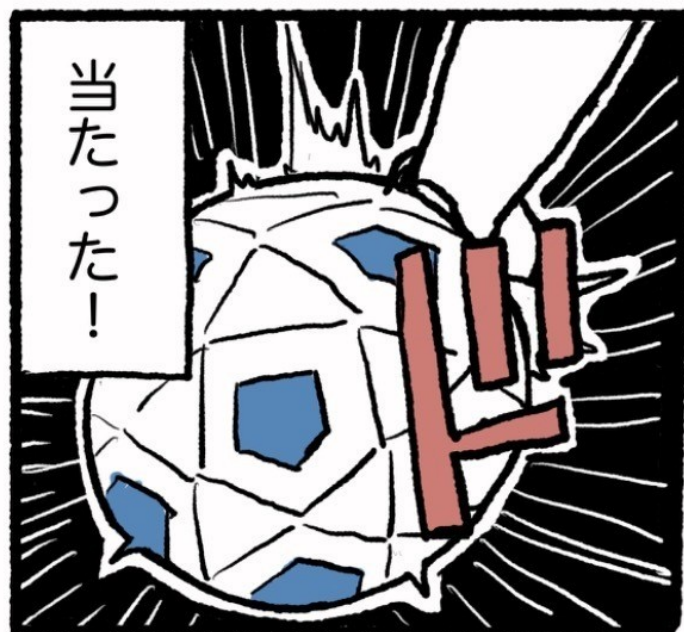
そのせいか
ペットボトルより
動きが速くないし、

ボールの音も
聴きやすい…



あ…
ボールが
近づいて来た

よし



当たった！



一歩踏み込んで、

ガイドの声のする方へ





アブースマ、
すごく楽しかったよ

よかった！

今日ぼくは
全員が同じように
見えないサッカーで
活躍できたん
だけど：

サッカー以外の
世界でも、
そうになれるかな？

もちろん！
そういう社会にするために
ぼくは日本から来てるんだ。

そっか！
ありがとう。

おわり